

セミナー総括

ホーチミン市立幼児師範学校科学研究課長 Nguyen Thi Kim Duong

グエン ティ キム ズオン

この三日間、本当に有意義な活動が出来た。代表して総括をしたい。

この三日間のセミナーで、高齢者とは、という概念、高齢者介護とは、という概念について新しい知識情報を得る事が出来、それに基づいて積極的な討論が出来たと思う。それを通して次のような事を総括として言いたい。

このセミナーの間、日本における高齢者介護の社会化について知る事が出来た。また、その社会化の必要性、社会の側からの積極的な意義を教えていただき、考える事が出来た。ベトナムでは現時点では家族における在宅介護が一般的だが、社会経済が発展していく過程で、高齢者介護の社会化は、本当に考えなければいけない要素だと思う。

二つ目に、このセミナーを通して日本とベトナムの両方の社会での現状を知ることができた。両方で高齢化が進んでいる事、残存能力を発揮していくためにも我々の全人的な介護の提供について考える事が出来た。

三つ目に、在宅介護、社会における介護施設介護の両方の場における介護についても知る事が出来た。介護する上で必要な様々な知識や道徳についても考える事が出来た。

最後に、特に印象に残っているのは、日本、特に大阪健康福祉短期大学における介護士養成のカリキュラムについて具体的に知る事が出来たことだ。実践されているカリキュラムは、介護の具体的な技術と、人間や生物学、社会に関する理論があり、技術と基礎両方を含んだ専門的な養成カリキュラムだと感じた。そして、今回教えていただいた養成カリキュラムは、ベトナム人の参加者、特に大学関係者が大きく関心を持った内容だろう。なぜなら、これから自分たちがベトナムで同様の学科学部を設立したいという思いがあったからだと思う。この3日間の成果は、確実にベトナムの高齢者介護にとって有意義なものになると考える。この3日間、皆さんが積極的に熱心に参加して下さった事、講義して下さった事にお礼申し上げる。